



舞 浜

学 校 だ よ り
第 2 号
令 和 2 年 5 月 1 日
浦 安 市 立 舞 浜 小 学 校
校 長 梨 本 昭 子

学校教育目標 <健康で 思いやりの心を持ち 自立できる 子どもの育成>

目指す
子どもの姿

- 心身ともに健康な子（元気な子）
- 相手の気持ちを考える子（優しい子）
- 自分で考え判断できる子（考える子）

今は、家に居ましょう！

「ああ、はやく家を出てのびのびしたいなあ。」「思いっきり、友達と遊びたいなあ。」という子ども達の声が聞こえてきそうです。

5月いっぱい臨時休業となってしまいました。保護者の皆様には、ご家庭で子ども達への健康観察や居場所作りに大変苦慮されていることと思います。

今は、ゴールデンウィーク中の過ごし方もふくめ、私たちの責任ある行動が問われています。まずは、人と人との接触を最小限に押さえることが重要です。学校に子ども達の笑い声が響く日が1日でも早く戻ってくるためにも、我慢の時ですね。



今、学校で

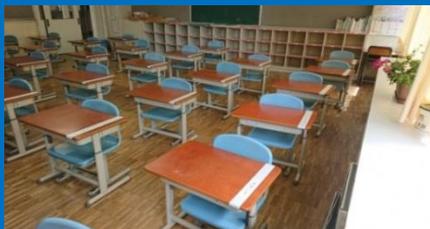
学校でも、3密の状態にならぬように職員が交代して勤務しています。児童の健康や学習状況の確認のためにご家庭に電話をしています。ご家庭から子ども達が頑張っている様子や学習に取り組む様子が聞けたり、本人の声を聞けたりして大変ありがたいです。担任も少し安心しています。その他にも、限られた環境の中でどのように学習を進めたらよいか教師自身が指導法を研究し、教材を作ったり、教室や廊下の掲示物など、環境を整えたりして、いつ学校が再開してもよい状態にしています。



1 階の廊下掲示 コロナに負けるな！
こいのぼりが元気に泳いでいます。



かもめ学級では、4羽のカモメ達が皆
を待っています。



1年生の教室は、すぐにでも学習でき
そうです。



校庭の畑には、理科の学習ができるよ
うにキャベツを植えました。

学習支援ホームページ「うらやす 学びの広場」について

休業中の子どもたちの学びを支援するためにホームページを浦安市教育委員会が作成しました。ホームページには、学習支援に係るサイトのリンクや各学校で作成される学習動画があります。ホームページアドレスは、以下になります。

* ホームページアドレス <https://urakyoshi.wixsite.com/urayasu>

または、「うらやす 学びの広場」で検索してください。

ページ内の「動画メッセージ」については、パスワードが必要です。パスワードは連絡メールで配信されたものをお使いください。舞浜小学校からも、「自宅でできるかんたん物作り」という動画をアップしました。

「e ライブラリ」については、IDとパスワードを配付し、5月の連休明けから利用できるように準備中です。「e ライブラリ」で検索していただくと、家庭学習サービスページのログイン画面にいけます。

休業中の家庭学習について

臨時休業期間が延長したことから、教科書を中心として学べるように1週間分ずつ課題を出します。学校の靴箱（靴箱が各児童のポストになっています）に課題を取りにきてください。どなたでもかまいません。また、子ども達が生活のリズムを崩さずに、意欲的に学べるように「がんばりカード」や「自分で作成する時間割表」も配付します。さらに、担任が子ども達に電話で直接励ましの言葉をかけるようにしていきます。ホームページにも5月分の学習課題を随時掲載いたしますので、ご覧いただき、ご確認ください。学習内容についてのご質問などありましたら、学校までご連絡ください。

家族の一員という意識を

学校では、「掃除当番」「給食当番」「係活動」や「委員会活動」など決まった仕事が一人の児童に任される場面が多くあります。子ども達は、学級のために、学校のためになる仕事を任されて所属意識が芽生えます。さらに、褒め認められることで、「頼りにされた」「任せてもらえた」「自分にもできる」という自己有用感が育ちます。

家族で過ごす時間が長い今だからこそ、子ども達にご家庭の仕事を任せ、できたことを褒め認め、家族の一員であるという意識と自己有用感を育てるチャンスです。

以下の学校でのやり方を参考にご家庭でも取り組んでみるとよいでしょう。

- ① やり方を伝授する。（各家庭の秘訣があれば伝えて）
- ② 一緒に2・3回行う。（仕事によっては1回でも）
- ③ 一人でできるようになったと思わせる。（このとき合格テストがあると良いですね。さらに「うれしいよ」「助かるよ」「すごいなあ」というメッセージ、褒めることも忘れずに）
- ④ 1週間ほど任せてみる。
- ⑤ 正確に早くできるように子どもなりに工夫させる。（ここが大事です。工夫することもなく同じ仕事をさせると長続きしません。）
- ⑥ 頃合を見て、一緒に行く。（ここでバージョンアップした仕事ぶりをさらに「そんなやり方もあったんだね」「こうすると早いねえ」共感して褒める）
- ⑦ 完全に任せる。

子ども達は本来、新しいことにチャレンジするのが大好きです。現在しているご家庭の仕事他にも、様々な仕事をさせながら親子でふれあう時間とするのも良いですね。

